

豊中魅力アップ助成金（令和3年度の助成事業報告）

☆☆☆5つの事業を助成しました☆☆☆

<p>事業名</p> <p>URAKATA関西支部コラボコンサート プロジェクトNINAITE vol.1</p> <p>団体名</p> <p>URAKATA関西支部</p> <p>助成額</p> <p>助成額：810,000円</p>	<p>お能ってなあ〜に？おもしろ講座</p> <p>お能ってなあ〜に？実行委員会</p> <p>助成額：330,000円</p>
<p>概要</p>	<p>(6/10,9/1,2/11,3/16実施) 大阪音楽大学の学生を中心に豊中市にゆかりのある若い音楽家が集いコンサートを実施することで、音楽家への演奏機会の提供のみならず、次世代の音楽家育成を目的とした事業です。質の高いコンサートに加え、演奏者が豊中市出身であることや音楽家によるSNSでの発信により、市内外に「音楽家が育つまち」をPRされています。音楽家の輪を広げることで、プロジェクトの規模を拡大していくとともに、「音楽あふれるまち・豊中」を発信し、本市の魅力として継続することを期待します。</p> 
<p>概要</p>	<p>(6/19,7/11,8/1,9/12,10/9実施) 地域資源である豊中不動尊において、伝統芸能である「能楽」を気軽に触れる機会として楽しく・わかりやすく・理解してもらうことを目的とした事業です。オペラとのコラボレーションや落語会を実施し、能楽になじみのない人に関心を持っていただく企画や不動尊をPRする工夫が見られました。本市の魅力である「豊中不動尊」の認知度向上し及び「伝統文化の伝承」を継続して実施されることを期待します。</p>  
<p>概要</p>	<p>(3/20実施) 知的障害者がサッカーに接する機会を創出するとともに「高校スポーツ発祥の地」及び「服部天神宮の足の神様」の魅力発信を目的とした事業です。イベント当日は、高校サッカー発祥の地に関わる看板設置や服部天神宮の神主からのお話の時間など、魅力発信の工夫が見られました。健常者と障害者が一緒にサッカーを実施しており、観戦者にとっても障害者理解につながると考えますので、継続的な実施を期待します。</p>  
<p>概要</p>	<p>(11/13実施) 街角ギター写真の活動を通じて知り合ったギタリスト等が多く出演する音楽フェスティバルを開催し、コロナ禍でも音楽を通じて、人と人とのつながりの大切さを再認識することを目的とした事業です。会場の使用範囲の拡大や舞台の形態を変更することで、新型コロナウイルスの感染リスクを軽減されていました。3つの演奏ステージや多数の出展ブースなど、出演者・観客双方が楽しめるイベントでした。市の恒例イベントになっている「ギタスナフェス」を通して、交流の場を創出するとともに「音楽あふれるまち・豊中」の認知度向上につながることを期待します。</p>  
<p>概要</p>	<p>(6/23,7/22,9/29,10/28,11/10,11/21実施) 参加者がマイクを使って音楽の演奏や歌唱などのパフォーマンスを自由に行えるオープンマイクを大阪音楽大学の学生が設置し、市民との交流を図ることを目的とした事業です。公園という拓かれた場所で開催することにより、様々な世代の方が観覧されたことに加え、実際にステージに参加された市民もおられ、地域に根差したイベントになりました。今後も地域の魅力として定着させるとともに、「音楽あふれるまち・豊中」の推進を期待します。</p>  
<p>市の魅力が向上して とってもうれしいワニちゃん</p>  	